

K T O 6 0 4 0 許容引抜荷重計算書

株式会社タケネ

コンクリート躯体中に定着されたスカート形インサート 1 本当たりの許容引張力は、日本建築学会各種合成構造設計指針の頭付アンカーボルトの設計を参考とし、次の式で算定される。

$$P_{a1} = \phi_1 \cdot 0.31\sqrt{F_c} \cdot A_c$$

- P_{a1} : コーン上破壊により決まるインサート 1 本当たりの許容引張力 (N)
- ϕ_1 : 低減係数 (長期荷重用 1/3 短期荷重用 2/3)
- F_c : コンクリートの設計基準強度 30 (N/mm²) で計算する
- A_c : コンクリートのコーン上破壊面の有効水平投影面積 (mm²) (※下図参照)

有効水平投影面積 A_c の計算

- l_e : インサート全長 40 (mm)
- D : インサートスカート部直径 26 (mm)
- $A_c = 3.14 \times 40 \times (40 + 26) = 8290$ (mm²)

許容引抜荷重 (長期荷重時)

$$P_{a1} = 1/3 \times 0.31\sqrt{30} \times 8290 = 4692 \text{ (N)} \approx 4.7 \text{ (kN)} (\approx 480\text{kg})$$

許容引抜荷重 (短期荷重時)

$$P_{a1} = 2/3 \times 0.31\sqrt{30} \times 8290 = 9384 \text{ (N)} \approx 9.4 \text{ (kN)} (\approx 959\text{kg})$$

以上

※参考 M6 ボルト

通常ボルト保証荷重 1.25 (kN) (※ 128kg)
(強度区分 4.8) (安全率 5 とする)

焼入ボルト保証荷重 3.34 (kN) (※ 341kg)
(強度区分 10.9) (安全率 5 とする)

